

・ 蕪 工 ニュース

県立蕪崎工業高等学校
第209号

総務部

2021.05.20

新入生157名入学

関東溶接競技会

高校総体開幕

入学許可式を挙行

厳かな雰囲気の中、飯嶋清二校長より入学が許可された157名の新入生に激励の式辞がありました。緊張した面持ちで臨んだ新入生を代表して、5組の川野泰知さん（双葉中学校出身）が、はつらつと高校生としての決意を述べました。初心を忘れず、充実した高校生活を送って欲しいと思います。

緊張した対面式

4月12日（月）、今年度はグラウンドで対面式が行われました。生徒会長の望月蒼天君から歓迎の言葉があり、新入生を代表して、6組の阿部さくらさん（蕪崎東中学校出身）があいさつをしました。新入生全員が声を揃えてよろしくお願ひしますとあいさつをすると上級生からは大きな拍手が起きました。この対面式をもって本校生徒の仲間入りをし、本格的に高校生活がスタートしました。

関東甲信越地区溶接競技会に出場

4月24日（土）神奈川県藤沢市のコベルコ溶接テクノ（株）で第11回関東甲信越高校生溶接コンクール同時開催北陸高校生溶接コンクールが開催されました。例年は山梨県大会の上位2名が出場権利を得ますが、新型コロナウイルスの影響もあり、前年度の大会が中止となったため一昨年度の大会で上位成績を収めていた本校が推薦をいただき2名の生徒が参加しました。結果はシステム工学科2年二柿勝君が2位、電子機械科2年功刀亮君が5位となりました。6月5日に行われる第12回山梨県高校生溶接競技会で上位の成績を収めて来年の関東甲信越大会に再度出場できるよう、また、山梨県大会では9連覇も懸かっているため達成できるように頑張ります。

2年ぶりの高校総体 総合7点 19位

2年ぶりに高校総体が開催され、コロナ禍で様々な制限がある中ではありますが全日程を無事に終えることができました。成績も前回の25位を上回る19位という結果でした。本校は女子部の参加がないため総合成績で上位に入ることは難しいですが、参加した各部が健闘し中位に入ることができました。来年度は今回よりもさらに上位に入れるようにこれからも日々の練習に取り組んでほしいと思います。

レスリング部3点

レスリング部は団体戦と個人戦が行われました。団体戦では3校のリーグ戦で行われ、初戦の農林高校戦では7-0と快勝でした。次の甲府城西高校戦では1-3とリードされ後がない状況で71kg級の2年3組の長谷川虎次郎がラスト10秒で逆転勝利。結果的には4-3と辛勝でしたが2戦全勝で団体戦を優勝し、総体得点の「3点」を獲得することができました。個人戦では51kg級で1年1



組の中村真翔、65 kg級で1年4組の鈴木飛来、71 kg級で長谷川、80 kg級で2年6組の島袋希理瑠、92 kg級で3年6組の北脇香が優勝しました。今大会はインターハイの予選も兼ねており団体戦、個人戦では5名が出場権を獲得しました。しかし、惜しくも優勝を逃し悔し涙を流した選手もいました。レスリング部はこの県総体から今シーズンが始まり関東大会、インターハイ、全国グレコローマン選手権、国体と大会が続いていきます。全国の舞台で良い結果が残せるように、日々の練習に励んでいきたいと思ひます。

サッカー部 1点

初戦は上野原高校と対戦しました。冬の選手権県予選でも対戦し、勝利している相手ですが初戦という緊張感からか選手の動きが硬く、思うような展開をできずに延長戦の末に5-4で勝利しました。続く2回戦は山梨高校と対戦しました。控え選手も含めた3年生が活躍し、11-1で勝利しました。続く3回戦は私立の強豪、日本航空高校と対戦しました。前後半を通じて健闘しましたが、0-4で敗れ、ベスト16という成績で大会を終えました。次は6月のインターハイ県予選に向け、チームの目標である県ベスト8を目指し、練習に取り組みたいと思ひます。



バスケットボール部 1点

今回の県総体では、1回戦甲陵高校に【葦工67-54甲陵】で勝利し、勝ち点1を獲得することができました。続く2回戦では優勝した日川高校相手に【葦工42-98日川】負けてしまいましたが、100点以内に抑えるという目標を達成するために試合終了のラスト1秒まで諦めず戦い抜くことができました。次回のインターハイ予選では、シード校を破り、ベスト8以上の結果を残すために日々の練習に取り組んでいきたいと思ひます。※試合の様子はYou Tubeの「ニラテクバスケットボール」チャンネル内にありますのでご覧ください。



剣道部 1点

5月13日に小瀬武道館で甲府第一高校と対戦し、3対1で勝利することができました。一勝は、ベスト8、シード権の獲得、試合数の増加と多くのメリットがあるので目標としていました。目標が達成できたことは大きな成果だと思ひます。前日の個人戦では、身体が重く思っていた結果が出せずに不安がありました。チーム一丸となって得た勝利だと感じます。5月29日、6月12日に行われる全国高校総体の県予選は3年生にとっては最後の公式戦となるので、悔いの残らない試合を期待します。



山岳部 1点

山岳競技は4人でチームを組み、体力・生活技術、学科などの審査項目を100点満点からの減点方式で採点します。結果は89.79点で『4位』でした。大会1日目は「創造の森おびな」を会場に、山の知識や天気図作成などの学科テストと装備・テント設営などの生活技術の審査、2日目は「御坂山系」を会場に、タイムレースと登山行動などの審査が行われました。3年生4人（長林郁弥君・平山拳新君・小林侑雅君、谷優輝君）で臨みました。山岳部は4年ぶりの出場であり、3年生にとっては最初で最後の総体となりました。日頃の練習の成果を発揮し、大会前に掲げた4位以内の目標も達成し、良い形で終わることができました。